

ピンポンで広がる地域の輪

万富ピンポン

千種学区にある万富公民館には、合併する前の瀬戸町時代から大研修室に卓球台が1台ありました。

この卓球台を使ってピンポンをしようと平成26年7月1日に会員31名で万富ピンポンクラブが誕生しました。

万富ピンポンは、それぞれが独自に活動を行っており、現在の会員は次のとおりとなっています。

火曜日昼の部 30人、夜の部 10人

木曜日昼の部 26人、合計66人が卓球を楽しんでいます。

万富ピンポンの会員の居住地は、次のとおりとなっています。

千種学区内の会員 27人

江西学区の会員 18人

瀬戸町以外の会員 21人

万富公民館がある千種学区内の住民の方も多く参加していますが、千種学区以外から来て卓球を楽しんでいる会員も多く、地域間交流の拠点ともなっています。

玉ひろい係



万富ピンポンは、大研修室の中に6台の卓球台を置いて2人が卓球台を挟んで対戦します。

対戦相手は、参加者全員が番号を決めてもらい、全員が交代しながら卓球を行っています。

対戦がない人は、お茶を飲んだり網を持ってピンポン球を拾っています。

対戦する相手によって、スマッシュを決めたり、やさしい球を打ったりして、全員がピンポンを楽しんでいます。

日頃、運動不足や交流が少なくなりがちな高齢者にとって、万富ピンポンは適度な運動量と学区外の人との交流が進んで、健康で生き生きとした生活を送る原動力となっています。

万富公民館の大研修室は固定の机やイスは無く、室内は冷暖房の設備が整っており、快適な環境でピンポンができるようになっています。

万富公民館大研修室

6台の卓球台を置いてもまだ余裕があり、クラブ員は思い切り室内を動き回ることができます。

誕生から12年目を迎えた万富ピンポンは地域住民の健康づくり、生きがいづくりを目標にして、会員全員が健康で生き生きとした人生を送ることができるようこれからも活動を続けていきます。

ピンポンで健康づくり

